

デーリー東北  
2024年(令和6年)12月17日(火曜日) (1)

# 外国人材トラック運転手に

2024年問題

北奥羽の現場から 著なトラック運転手を養成する自動車運送業(トラック)コースを新設することが16日、分かった。運転手の残業時間規制に伴い、物流が停滞する「2024年問題」の解決につなげたい考え。ミャンマーから留学生(聴講生)を受け入れ、在留資格「特定技能1号」の取得を目指す。来年10月からの実施に向け、準備を進めている。  
(工藤洋平)

## 八工大、養成コース新設

### ミャンマー留学生受け入れ

特定技能は最長5年働ける1号と、熟練技能を要し、家族の帯同が認められて事実上、永住も可能な2号がある。政府は今年3月、外国人材の受け入れを目的とした1号に、人手不足が深刻な自動車運送業(トラック、バス、タクシ)、鉄道、林業、木材産業の4分野を追加する方針を閣議決定した。

では2万4500人の受け入れを見込む。一方、自動車運送業の課題は、母国の運転免許を日本の免許に切り替える「外免切り替え」。在留可能な半年以内に済ませる必要があるが、実技試験の予約に数カ月かかる場合もある。同大のプログラムは、外国人の登録支援機関、青森県内外の企業、八戸市が連携し、内定先の企業が決まった人材を受け入れる。同大が6カ月間の専門教育を提供し、学費は内定先の企業が立て替えて、3年間就業すれば免除となる仕組み。市は市営住宅を安価に貸し出す。

新設する自動車運送業(トラック)コースでは、本語能力試験のN4以上に合格した人材を受け入れ、外免切り替えの手続きが終わらない場合などに関しては、プログラム修了後に各就職先で6カ月の特定活動期間内の完了を目指す。

受講する外国人には、地域でアルバイトをしてみながらコミュニケーション能力の向上を図る。同大はアルバイト先の開拓にも努める考えだ。

同大の担当者は「トラック運転手の確保は喫緊の課題で、運送事業者からの期待が高まっている」と強調した。

24年度から5年間の受け入れ見込み数を、23年度までの2倍超の最大約80万人と試算。特に自動車運送業

し、全員が特定技能1号を取得した。後期(10~3月)の工業製品製造業は11人が受講中だ。

#### 産学官連携のスキーム



本年度は建築・土木と自動車整備、工業製品製造業の3コースを設定。前期(4~9月)の建築・土木と自動車整備は各4人が受講

した。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。